

第 115 回 理 事 会 議 事 次 第

日本商品先物振興協会

日 時 平成 28 年 1 月 26 日（火） 正午

場 所 (株)東京商品取引所 5 階会議室

議 案

第 1 号議案 平成 28 年度における取組課題（案）について

そ の 他

以 上

平成28年度における取組課題（案）

1. 商品先物市場の活性化・流動性拡大に向けた取組

（1）投資家向けセミナーの開催・協賛

商品投資に関するプログラムを主体としたセミナー・イベントを取引所等と共同で開催し、又は協賛することにより、多様な投資家層への普及啓蒙を行う。

特に、商品先物取引における個人投資家の裾野拡大を図るため、金融商品まで話題にできる講師を選定する等により、商品先物取引の潜在的顧客層である株・投信・FX等の金融取引投資家層の呼び込みを図る。

（2）メールマガジンによる普及啓蒙

上記セミナー来場者の商品投資への関心を持続させ、取引参加への動意付けにつなげるため、セミナー会場等において本会にメールアドレスを登録した者に対して、会員が実施するセミナー等の情報及び主要銘柄の市況情報等を記載したメールマガジンを定期的に送信する。（継続）

また、今後読者数が増大しても対応できるよう、情報の収集・メールマガジンの成形・配信といった一連の作業フローのシステム化を検討する。

（3）新規商品の普及啓蒙

白金限日取引、オプション取引等上場が予定されている新規商品の認知度向上及び取引活性化を図るため、東商取と連携してプロモーション活動を展開する。

（4）「みんなのコモディティ」のコンテンツのさらなる充実

商品先物取引の総合ポータルサイトとして運用している「みんなのコモディティ」を通じて広く投資家に商品投資への参入を促すため、新たに主要上場商品の特性・価格変動要因・情報収集の方法等及びリスク管理手法・テクニカル分析等の実践的なコンテンツを追加する。

（5）協会ホームページの充実

平成27年度事業において会員のホームページ用に提供したコンテンツ（商品先物取引の機能・しくみ、上場商品の価格変動要因等）を活用し、協会ホームページのコンテンツの充実を図る。

2. 会員の営業活性化に向けた取組

(1) 新規商品の営業支援

白金限日取引、オプション取引に係る会員の営業活動に資するよう、パンフレット・ホームページ用コンテンツ等を作成し、電子ファイルにより会員に提供する。

(2) 外務員向けセミナー（市況講演会）の開催（継続）

主要銘柄の価格変動要因等上場商品に関する知識の向上に資するよう、取引所と連携して外務員向けセミナーを継続して開催する。

(3) 会員セミナーへの協賛（継続）

会員の啓蒙活動を支援するため、会員各社が実施するセミナーに対し、要請に基づき本会が協賛し、当該セミナーを協会ホームページで告知する。

3. 望ましい金融所得税制の実現に向けた取組（継続）

個人投資家がリスク資産に投資しやすい環境を整備するため、引き続き、デリバティブ取引による損益と上場株式の譲渡損益との通算等を可能とする税制（金融所得課税の一体化）の早期実現に取り組む。

4. 商品先物取引の認知度向上に関する取組

(1) 商品先物取引裁判事例集の刊行

(2) 「みんなのコモディティ」の共同運営（継続）

(3) 投資クラブ等を対象とした講師派遣（継続）

(4) 大学における寄付講座の開講（継続）

(5) 「商品先物取引入門（改訂版）」の刊行

*27年度の収支差額の状況をみて費用捻出が可能な場合。

5. その他（継続）

協会ホームページ等を活用して、商品先物取引に係る知識、及び協会における取組、会議資料等を掲載し、広く投資家・会員等に対し適時に情報を発信する。

みんなのコモディティ（みんなのコモ）の現況

1. 概要

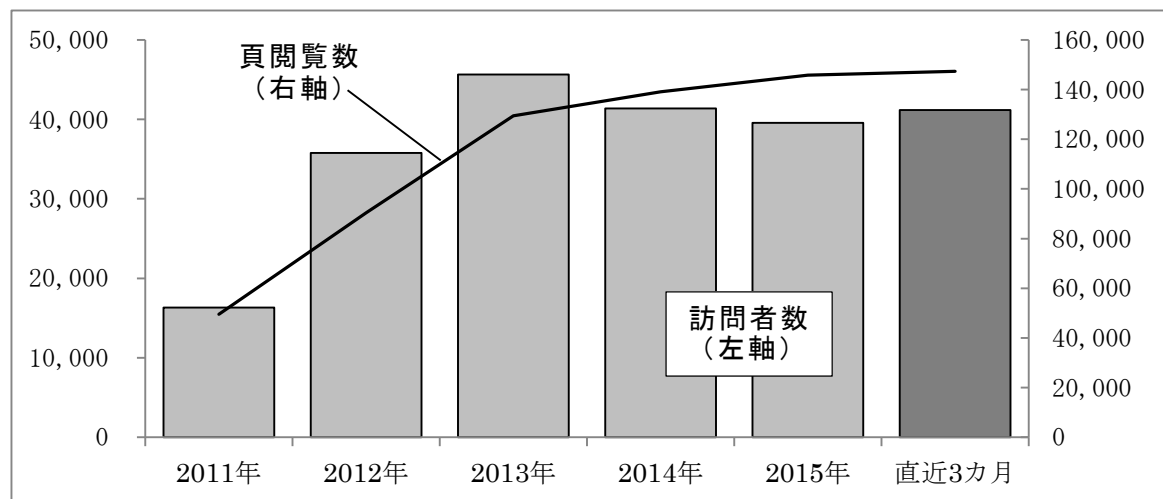
みんなのコモは、金融SNSとして圧倒的規模を有する「みんなの株式（みんなかぶ）」の姉妹サイトとして2011年9月に開設した商品先物特化型SNS。投資家は関連サイトの「みんなかぶ」「みんなの外為」「みんなの米国株」を相互に行き来し、多様な投資情報の獲得及びコミュニケーションツールとして利用できる。

2. 主な提供メニュー

以下の既存メニューに加え2015年10月より「商品先物取引入門」を新設。

- ① 銘柄別チャート（ディレイ、5分足～月間足、各種テクニカル対応）
- ② コモディティコラム（レギュラー執筆者12名、月間更新数約60本。2011年9月以降、累積2,500本超）
- ③ コモディティ関連日記（月間投稿数約70本）
- ④ マーケット情報（配信：時事通信）
- ⑤ 今日の市況（株式、FX、商品を網羅し姉妹サイトの閲覧者を相互に誘導）
- ⑥ 特集コンテンツ：ゴム先物取引入門（2014年）
- ⑦ その他（商先業者セミナー情報、商先会社一覧、商品先物FAQ）

3. 月間アクセス件数の推移



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	直近3カ月
訪問者数（人）	16,336	35,778	45,660	41,373	39,548	41,160
閲覧のべ数（頁）	49,504	90,344	129,409	139,094	145,792	147,350

関連サイトのアクセス数（2015年12月）

	みんなの株式	みんなのFX	みんなの米国株
訪問者数（人）	3,692,678	614,635	22,932
閲覧のべ数（頁）	32,394,776	2,106,322	108,667

4. 2015年中の関連イベント等

① ゴールド川柳

金を題材とした川柳をみんなの株及び特集HPで3月10日から募集開始（「みんなの株メルマガ（約15万通）」で告知）。

応募件数989件（のべ2,471作品）。優秀作は金選好の強い投資家向けイベント『ゴールドフェスタ』（5月、参加者557名）で発表、表彰した。

② コモディティコラムのYahoo!ファイナンスへの転載

みんなの株の認知向上、訪問者誘導策としてYahoo! Japanの協力のもと、コモディティコラムの一部記事を「Yahoo!ファイナンス」に2015年8月から掲載開始。Yahoo!ファイナンスの転載記事からみんなの株へのアクセスも可能とした。

③ コモディティコラム執筆者の表彰

コモディティコラムのレギュラー執筆者の中から、みんなの株が独自の視点に基づいて3名を選出し、特別賞（みんなの株・コラムアワード2015）を2015年12月に授与。受賞理由と受賞者のコメントをみんなの株で紹介した。受賞者は近藤雅世（コモディティ・インテリジェンス）、松永英嗣（サンワード貿易）、三浦良平（岡地株式会社）の3氏。

④ みんなの株 special セミナー

- 3月 東京、参加44名『中央銀行の金融政策』『金！覚醒』『FX&ゴールド』
- 10月 大阪、参加163名『ヘッジファンドマネージャーの金・原油市場の見方』他
*大阪は初開催。コモディティフェスティバルと共同開催。
- 12月 東京、参加52名 詳細は別紙

第6回 みんなかぶ Special セミナー 概要

【開催概要】

「みんなの株式」のユーザーを対象に商品主体のプログラムを提供。

開催日 平成27年12月17日（木）

開催場所 東京商品取引所 地下1階 セミナールーム

来場者数 52名（申込者数118名）

講演 「12月のFOMC直後の徹底討論 ～どうなる2016年の金・為替～」

池水 雄一氏（ICBCスタンダードバンク東京支店長）

石川久美子氏（外為ドットコム総合研究所 シニアFXアナリスト）

司会：大橋ひろこ氏

「原油マーケットの潮目はいつ変わるのか」

大場 紀章氏（GEFリサーチ代表 エネルギーアナリスト）

【先物協会アンケートの集計概要】

先物協会メルマガ『CX早耳情報』送信リスト獲得のためアンケートを実施。

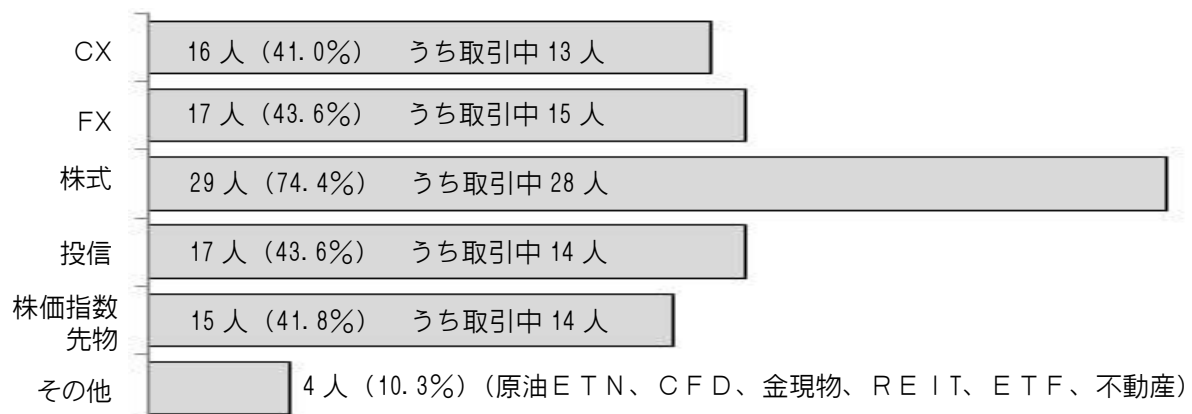
アンケート回答者数 39人 男性31人（79.5%）、女性8人（20.5%）

回答者の年齢分布

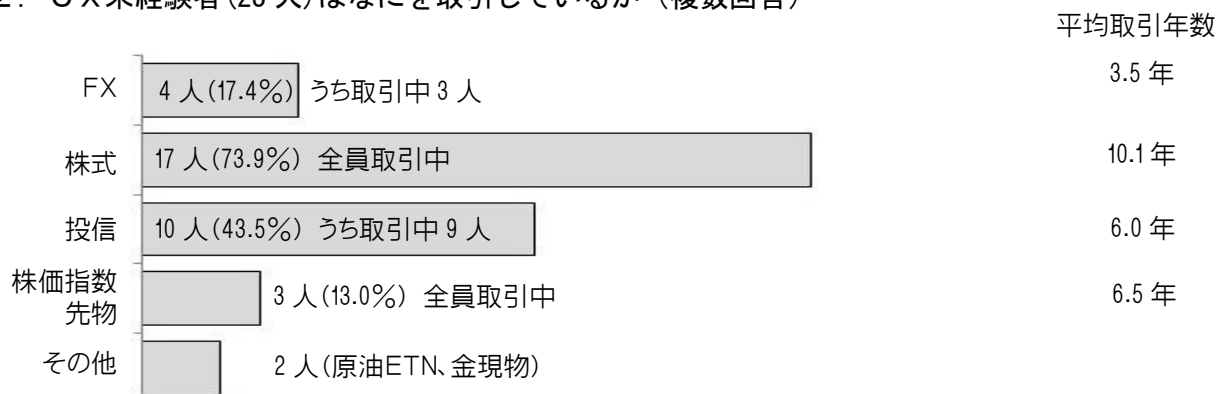
20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
2人	4人	12人	13人	5人	2人	1人

うちメルマガ希望者 37人

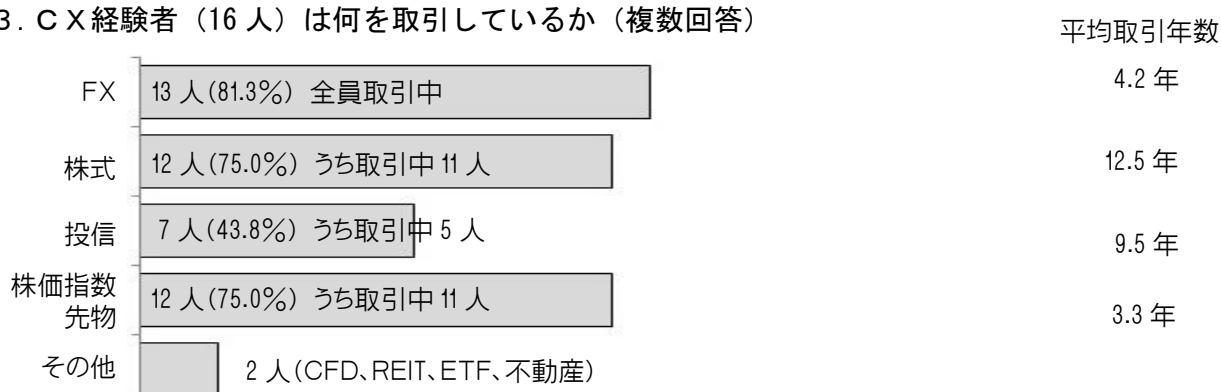
1. アンケート回答者（39人）はなにを取引しているか（複数回答）



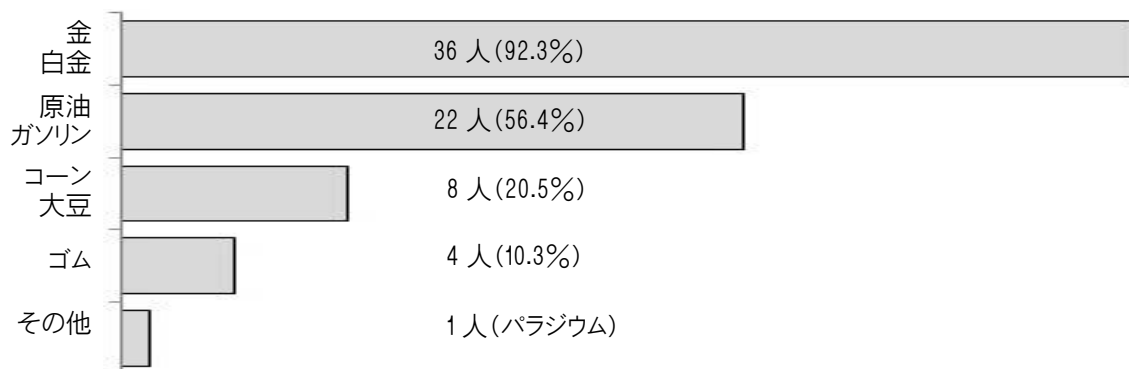
2. C X未経験者(23人)はなにを取引しているか(複数回答)



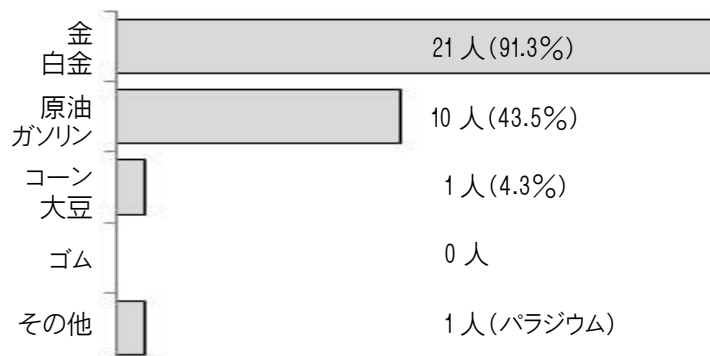
3. C X経験者(16人)は何を取引しているか(複数回答)



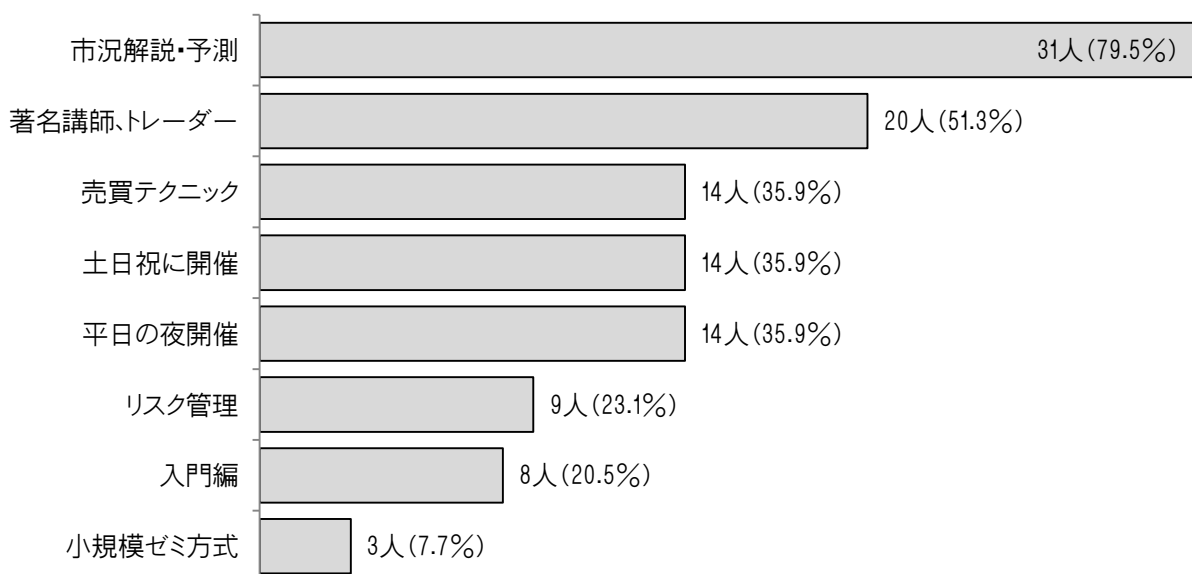
4. アンケート回答者(39人)が関心のある商品(複数回答)



5. C X未経験者(23人)が関心のある商品(複数回答)



6. アンケート回答者（39人）が参加したいセミナー



7. CX未経験者（23人）が参加したいセミナー

